

中学歴史プリント（過去問類似）

昭和時代（戦後）

名前

得点

/8

問1 統計資料において、1950年代後半から1970年代初頭にかけてテレビの契約件数が急激に増加し、生活水準の向上が見られる時期の日本の経済状況を何と呼びますか。（2023年 栃木県公立入試 類似）

1. 高度経済成長 2. 石油危機 3. 財閥解体 4. バブル経済

問2 1951年に日本が多くの連合国諸国との間で調印したサンフランシスコ平和条約の歴史的意義として、最も適切なものはどれですか。（2021年 鳥取公立入試 類似）

1. 日本が国家としての主権を回復し、国際社会への復帰を果たした。 2. 日本が国際連合への加盟を認められ、国際社会における地位を確立した。 3. 日本とソ連との国交が回復し、戦争状態が終結した。 4. アメリカ合衆国から沖縄の施政権が日本へ返還された。

問3 第二次世界大戦後の国際情勢に関連して、1949年に起きた出来事として正しいものはどれか。（2017年 北海道公立入試 類似）

1. 毛沢東を主席とする中華人民共和國が成立した 2. ドイツでベルリンの壁が崩壊し、東西の往来が可能になった 3. 朝鮮半島で北緯38度線を境界として朝鮮戦争が勃発した 4. 日本とソ連の間で日ソ共同宣言が調印された

問4 戦後の日本外交の歩みにおいて、田中角栄首相が日中国交正常化を実現した1972年に、同じく戦後史の大きな節目として起きた出来事はどれですか。（2022年 高知公立入試 類似）

1. アメリカの施政権下にあった沖縄の日本復帰 2. サンフランシスコ平和条約の締結による主権回復 3. 日ソ共同宣言によるソ連との国交回復と国際連合加盟 4. 東京オリンピックの開催と東海道新幹線の開業

問5 日本のメディアの歴史と社会の動きについて述べた文として、正しいものを次の記述から選びなさい。（2023年 栃木県公立入試 類似）

1. テレビ放送は1953年に開始されたため、それ以前に起きた満州事変の様子が茶の間に生中継されることはなかった。 2. 1953年にテレビ放送が開始されると、日露戦争の講和会議の様子が初めて全国にライブ配信された。 3. 白黒テレビの放送開始時期は1930年代であったため、五・一五事件の発生はリアルタイムでテレビ報道された。 4. 1950年代にテレビ放送が開始されるまで、日本には情報を伝達する公共のメディアは一切存在しなかった。

問6 第二次世界大戦後に行われた、農村の民主化を目的とした改革について述べた文として、正しいものはどれですか。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 政府が地主から農地を強制的に買い上げ、それを小作人に安く売り渡すことで、自作農を大幅に増やした。 2. 地主が小作人に対して土地を無償で提供し、小作人が支払う小作料を完全に廃止することで自作農を育成した。 3. 政府がすべての農地を国有化し、地主と小作人の区別をなくした上で、希望する農家に土地を平等に貸し出した。 4. 地主と小作人が話し合いを通じて土地の売買価格を決定し、政府の介入なしに農地の所有権を移動させた。

問7 1960年代の日本において、電気洗濯機、電気冷蔵庫、電気掃除機といった家庭用電化製品の普及率が10年間で飛躍的に高まった背景と、その影響について述べた文として最も適切なものはどれですか。（2024年 福岡県公立入試 類似）

1. 高度経済成長によって家計の収入額が大幅に増加し、消費生活が豊かになったことで、家事の負担を軽減する家電が普及した。 2. 物価が急激に下落したことにより、貯蓄よりも消費を優先する傾向が強まり、海外製の安価な家電が大量に流入した。 3. 工業化が遅れたため、政府が家計を支援するために家庭用電化製品を国費で各家庭に支給したことで普及が進んだ。 4. 都市部でのエネルギー不足を解消するため、電力消費の少ない伝統的な生活様式を維持するよう推奨された。

問8 第二次世界大戦後、GHQ（連合国軍最高司令官総司令部）の指令に基づき行われた、日本の農村の民主化を目指した政策について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2017年 埼玉県公立入試 類似）

1. 政府が地主から農地を強制的に買い上げ、小作人に安く売り渡すことで、自作農を大幅に増やした。 2. 地価の3%を現金で納めさせることで、政府の安定した税収を確保し、土地の所有権を確立させた。 3. 欧米の進んだ技術や機械を導入するために、官営模範工場を設立して近代的な産業を育成した。 4. 小作料の引き下げを求める小作争議を抑えるため、地主の権利を強化する法律を制定した

答え合わせ・解説

問1	答え 1 高度経済成長	1950年代半ばから1970年代初頭にかけて、日本の経済は年平均10%を超える高い成長率を記録しました。この時期には「三種の神器」と呼ばれた白黒テレビ・洗濯機・冷蔵庫などの家電製品が一般家庭に急速に普及し、国民の生活様式が大きく変化しました。
問2	答え 1 日本が国家としての主権を回復し、国際社会への復帰を果たした。	第二次世界大戦での敗戦後、日本は連合国軍の占領下にありましたが、この条約の締結によって独立を認められました。国際連合への加盟や日ソ共同宣言による国交回復は1956年、沖縄の日本復帰は1972年の出来事であり、サンフランシスコ平和条約はその前提となる日本の主権回復を成し遂げた重要な節目です。
問3	答え 1 毛沢東を主席とする中華人民共和国が成立した	第二次世界大戦後、中国国内では共産党と国民党の内戦が続き、これに勝利した共産党の毛沢東が1949年に北京で中華人民共和国の成立を宣言した。一方、ベルリンの壁崩壊は冷戦終結期の1989年、朝鮮戦争の勃発は1950年、日ソ共同宣言は1956年の出来事である。
問4	答え 1 アメリカの施政権下にあった沖縄の日本復帰	1972年は日本の戦後外交において極めて重要な年です。5月には佐藤栄作内閣の下で沖縄の返還が実現し、その後の7月に誕生した田中角栄内閣が9月に日中国交正常化を成し遂げました。この二つの出来事は、戦後の処理が大きな区切りを迎えたことを象徴しています。主権回復は1952年、日ソ共同宣言は1956年、最初の東京オリンピックは1964年の出来事です。
問5	答え 1 テレビ放送は1953年に開始されたため、それ以前に起きた満州事変の様子が茶の間に生中継されることはなかった。	日本におけるテレビ放送の開始は1953年であり、これより前に発生した歴史的イベントである満州事変（1931年）や日露戦争（1904年～）、五・一五事件（1932年）などがテレビ中継されることは歴史的にあり得ません。テレビ放送が開始される以前は、新聞やラジオ、映画館で上映されるニュース映像などが、人々に視覚や聴覚で情報を伝える主な手段となっていました。
問6	答え 1 政府が地主から農地を強制的に買い上げ、それを小作人に安く売り渡すことで、自作農を大幅に増やした。	第二次世界大戦後の日本では、連合国軍最高司令官総司令部（GHQ）の指令に基づき、寄生地主制を解体して農村を民主化する「農地改革」が行われました。この改革では、政府が不在地主の全耕地や在村地主の制限を超える農地を買い上げ、実際に耕作していた小作人に安く売り渡しました。これにより、多くの農家が自分の土地を持つ自作農となり、戦後の農業発展の基礎が築かれました。
問7	答え 1 高度経済成長によって家計の収入額が大幅に増加し、消費生活が豊かになったことで、家事の負担を軽減する家電が普及した。	1960年代の高度経済成長期は、技術革新による生産性の向上と、それに伴う労働者の賃金上昇が同時に進行しました。収入の増加は人々の購買力を高め、生活をより便利で快適にしたいという需要を生み出しました。その結果、家事労働を効率化する家電製品が急速に普及し、人々の生活スタイルが大きく変化したのです。選択肢にあるような「物価の下落」や「工業化の遅れ」はこの時期の実態とは異なります。
問8	答え 1 政府が地主から農地を強制的に買い上げ、小作人に安く売り渡すことで、自作農を大幅に増やした。	第二次世界大戦後の農地改革は、農村における封建的な地主・小作関係を解消し、民主化を進めるために実施されました。これにより、1940年には農地の約45%を占めていた小作地が、1950年には約10%まで減少し、自作農が日本の農業の中心となりました。